

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月20日

千葉市長 殿



提出者

住 所 千葉市美浜区新港56番地

氏 名 理研ビタミン株式会社 千葉工場

工場長 柴田 毅

電話番号 043(243)1122(代)

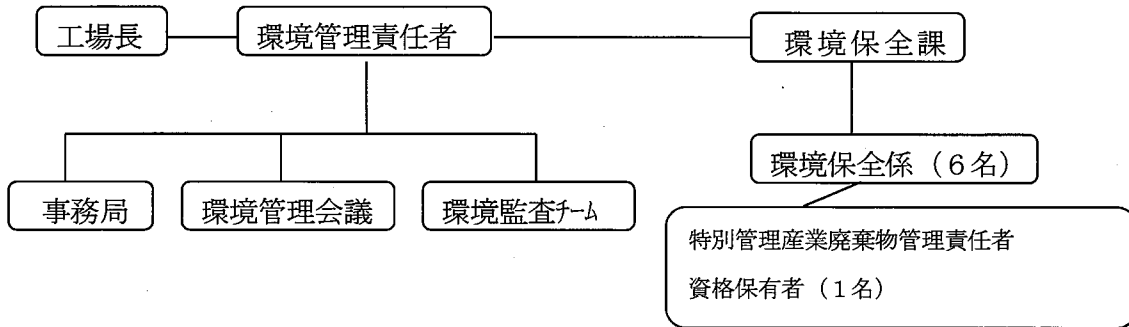


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	理研ビタミン株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉市美浜区新港56番地
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	2022年度製造品出荷額 10,022百万円
③ 従業員数	204名 (2023年3月1日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙②の通り

① 現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	全6種類	
	排出量	3,943.9 t	t
	(これまでに実施した取組) ・原料、製品の在庫量削減。 ・各部門における排出量前年度比1%削減。 ・一部の廃油に関し遠心分離機で油と水を分離し油の再利用。 ・凝集剤増量により水分量減による汚泥削減。		
②計画	【目標】 別紙②の通り		
	産業廃棄物の種類	全6種類	
	排出量	3,937.5 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・原料、製品の在庫量削減。 ・各部門における排出量前年度比1%削減。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	
②計画	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,866.2 t	t
	(これまでに実施した取組) ・在庫管理にて不要在庫削減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,870 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・更なる在庫管理強化。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙②の通り

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全6種類	
	全処理委託量	1,077.7 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	436.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	27 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	614.4 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・処理委託先への定期的な査察を実施し、処理状況の確認を行っている。		

②計画	【目標】 別紙②の通り	
	産業廃棄物の種類	全6種類
	全処理委託量	1,067.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	432.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	27 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	608 t
	(今後実施する予定の取組) ・委託業者査察時、ISO14000認証取得の推奨。	
※事務処理欄		

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

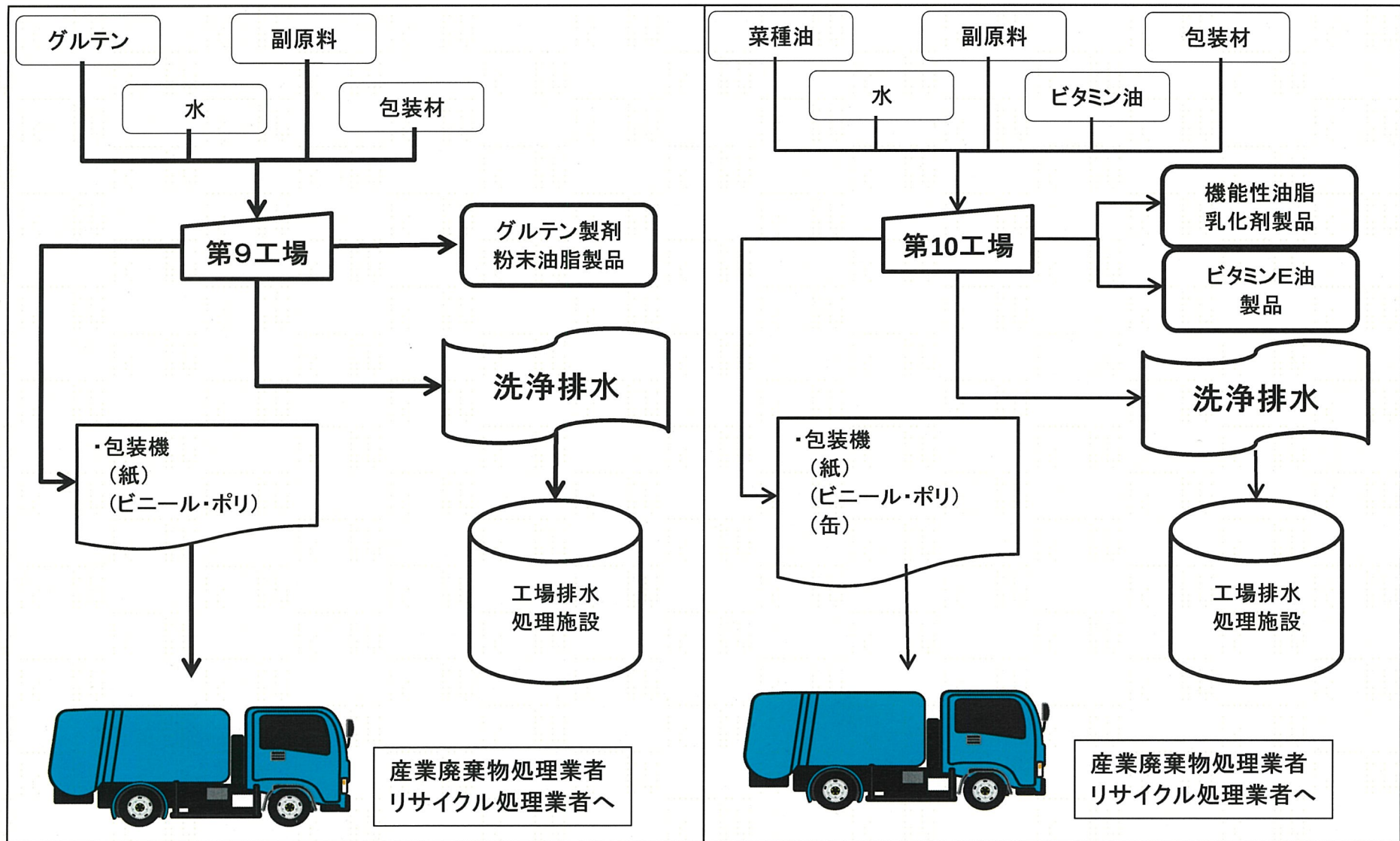
4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

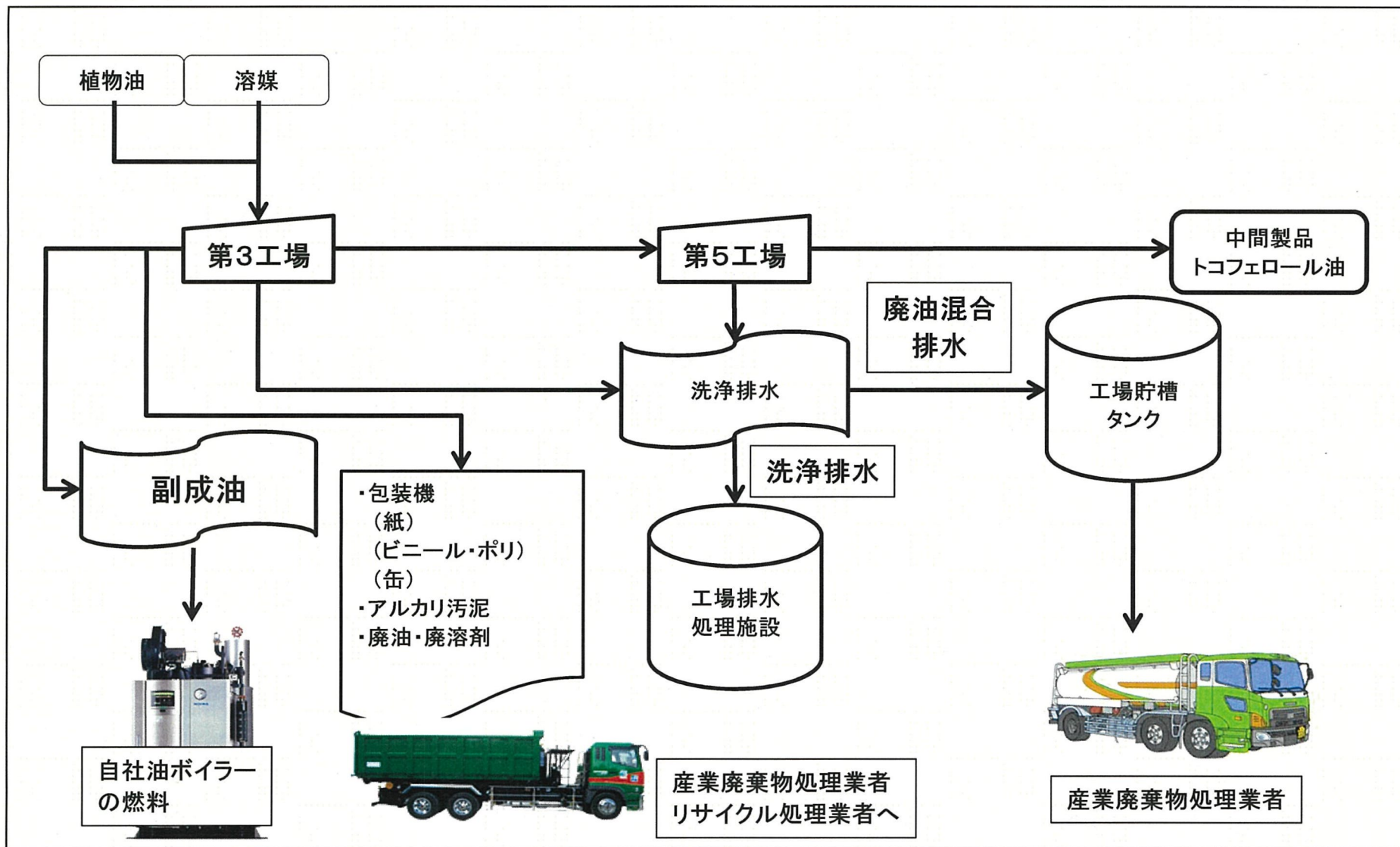
製造業等
別紙① 産業廃棄物の一連の処理工程



備考

1. フローシートには、製造業では生産品目ごとに次の事項を記載すること。
 - (1) 生産工程及び生産設備の名称。特定施設がある場合をこれを明示すること。
 - (2) 生産施設に番号を付け別紙1-1の生産施設名の番号と対応させること。
 - (3) 処理施設に番号をつけ別紙5-4の処理施設名の番号と対応させること。
 - (4) 原材料及び使用薬品等の名称及びこれらの使用量。
 - (5) 排水、排ガス、廃棄物等の発生場所は、それぞれ具体名を付けて明示すること。

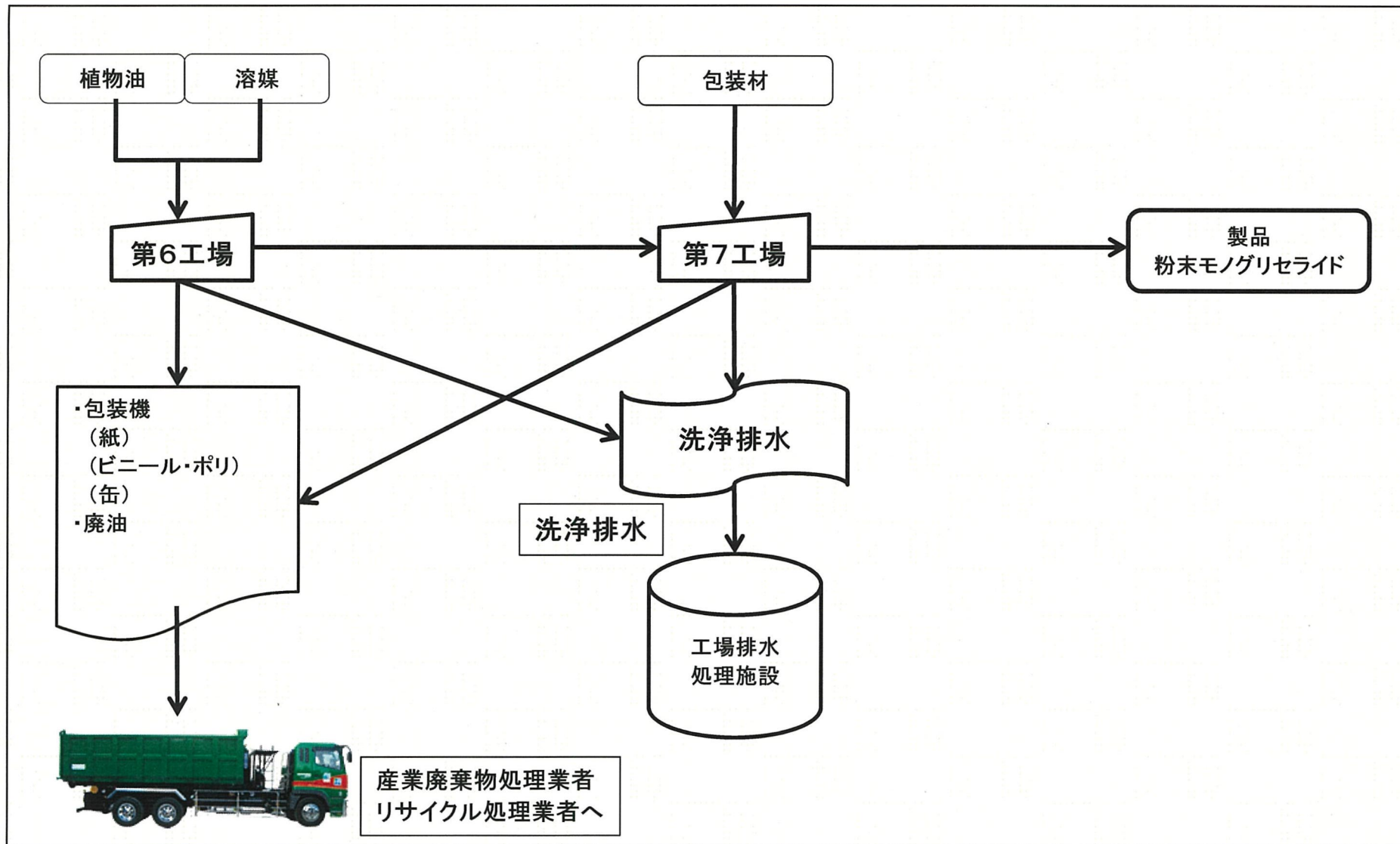
製造業等
別紙① 産業廃棄物の一連の処理工程



備考

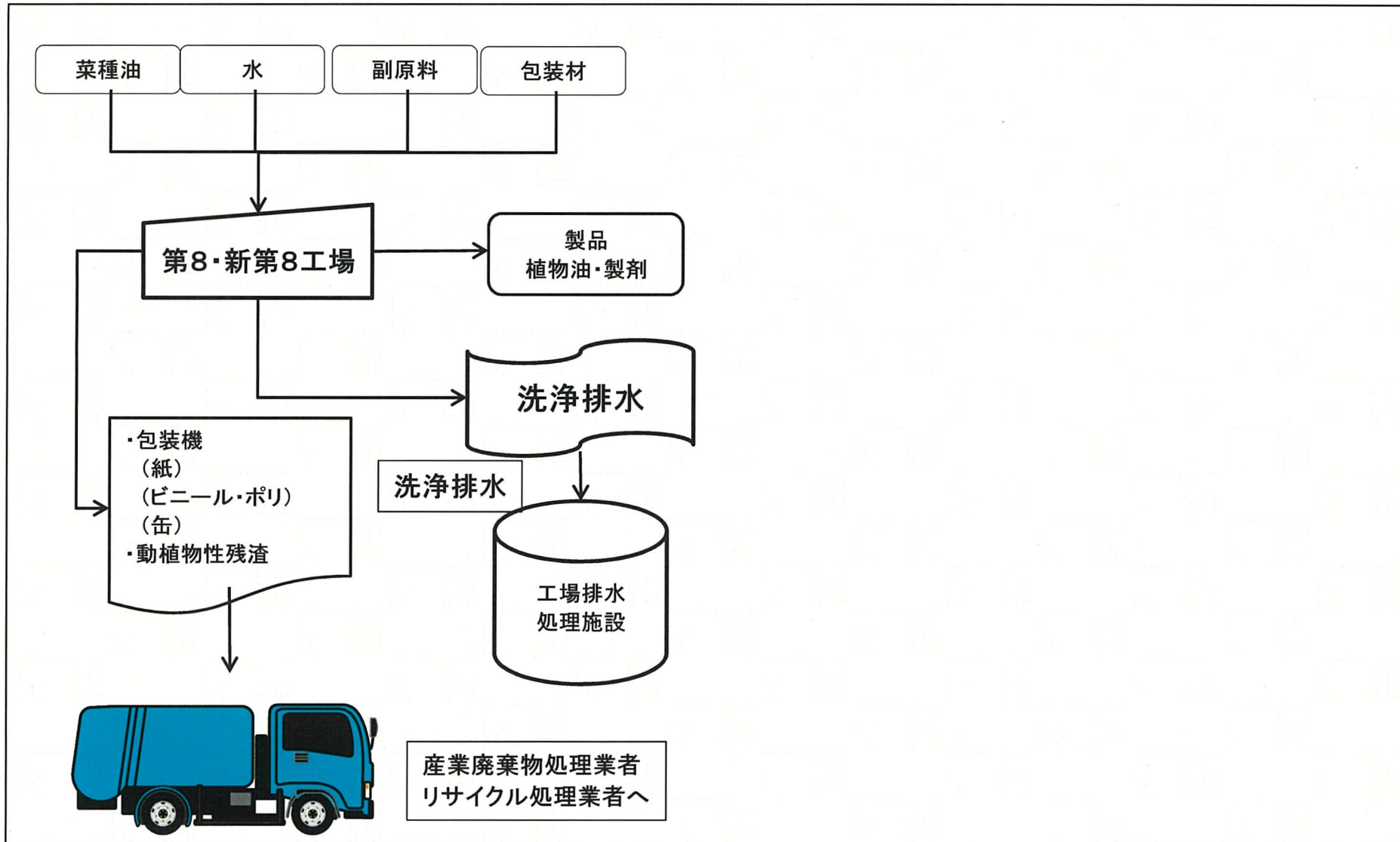
1. フローシートには、製造業では生產品目ごとに次の事項を記載すること。
 - (1) 生産工程及び生産設備の名称。特定施設がある場合をこれを明示すること。
 - (2) 生産施設に番号を付け別紙1-1の生産施設名の番号と対応させること。
 - (3) 処理施設に番号をつけ別紙5-4の処理施設名の番号と対応させること。
 - (4) 原材料及び使用薬品等の名称及びこれらの使用量。
 - (5) 排水、排ガス、廃棄物等の発生場所は、それぞれ具体名を付けて明示すること。

製造業等
別紙① 産業廃棄物の一連の処理工程



備考

1. フローシートには、製造業では生産品目ごとに次の事項を記載すること。
 - (1) 生産工程及び生産設備の名称。特定施設がある場合をこれを明示すること。
 - (2) 生産施設に番号を付け別紙1-1の生産施設名の番号と対応させること。
 - (3) 処理施設に番号をつけ別紙5-4の処理施設名の番号と対応させること。
 - (4) 原材料及び使用薬品等の名称及びこれらの使用量。
 - (5) 排水、排ガス、廃棄物等の発生場所は、それぞれ具体名を付けて明示すること。



備考

1. フローシートには、製造業では生產品目ごとに次の事項を記載すること。
 - (1) 生産工程及び生産設備の名称。特定施設がある場合をこれを明示すること。
 - (2) 生産施設に番号を付け別紙1-1の生産施設名の番号と対応させること。
 - (3) 処理施設に番号をつけ別紙5-4の処理施設名の番号と対応させること。
 - (4) 原材料及び使用薬品等の名称及びこれらの使用量。
 - (5) 排水、排ガス、廃棄物等の発生場所は、それぞれ具体名を付けて明示すること。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度（2022年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	動植物性残渣	ガラス・陶磁器くず	
	排出量	438.1 t	3,352.8 t	34.6 t	0 t	116.9 t	1.5 t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	動植物性残渣	ガラス・陶磁器くず	
	排出量	434 t	3,351 t	34 t	1 t	116 t	1.5 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度（2022年度）実績】							
	産業廃棄物の種類		廃油					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	2,866.2 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類		廃油					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	2,870 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度（2022年度）実績】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（ 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（2022年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	動植物性残渣	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	438.1 t	486.6 t	34.6 t	0 t	116.9 t	1.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	403.2 t	1.5 t	t	t	30.1 t	1.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	27.0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	34.9 t	458.1 t	34.6 t	t	86.8 t	t
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	木くず	動植物性残渣	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	434 t	481 t	34 t	1 t	116 t	1.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	400 t	1 t	t	t	30 t	1.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	27 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	34 t	453 t	34 t	1 t	86 t	t